

国際関係学科フィールドワーク・フェスタ 2016 開催報告

2016年11月、愛知県立大学長久手キャンパスにて、外国語学部国際関係学科の学生・教員による行事「フィールドワーク・フェスタ 2016」が行われました（主催：国際関係学科フィールドワーク・フェスタ 2016 実行委員会）。

「フィールドワーク・フェスタ」は、世界中の国ぐに・地域に関心を向ける国際関係学科の学生たちと教員たちがいっしょにつくる行事です。2011年以降、秋の恒例行事となり、今年で6回目の開催となります。「旅の写真展」「旅の報告会・茶話会」のふたつの事業に取り組みました。

■旅の写真展

国際関係学科の学生・教員が、最近、国内外の訪問先で撮影してきた写真のパネルを作成し、展示しました。

【とき・ところ】

第1部: 2016年11月4日（金）～11月6日（日）

【県大祭の一環として実施】

愛知県立大学長久手キャンパス B棟1階廊下

第2部: 2016年11月8日（火）～11月22日（火）

愛知県立大学長久手キャンパス H棟地下ホール

【展示作品数】92点（44人の学生・教員による22カ国・地域での撮影作品）

【出展作品のおもな撮影地】日本（北海道、岩手、新潟、石川、神奈川、長野、山梨、静岡、愛知、岐阜、三重、京都、奈良、大阪、兵庫、岡山、鹿児島）、韓国、台湾、フィリピン、インドネシア、ブルネイ、ベトナム、タイ、UAE、セネガル、ロシア、エストニア、リトアニア、クロアチア、フランス、イギリス、アメリカ、ペルー、チリ、アルゼンチン、ニュージーランド、オーストラリア



■旅の報告会・茶話会

国際関係学科の学生・教員たちが、国内外の訪問先で撮影してきた写真を持ち寄って話をする、旅の報告会を行いました。また、旅先のお土産を持ち寄って茶話会を開催し、食文化を通じた異文化理解・交流の機会としました。

【とき・ところ】2016年11月17日（木）14:30-17:00、長久手キャンパス E302

【参加者数】約45人

【発表数】10件（10組12人による）、約23カ国・地域に関する報告

【話題提供】アフリカ諸国調査（コートジボワール、セネガル）＋クロアチア出張／ロシア留学／タイ旅行／UAE調査／南米諸国旅行（ペルー、ボリビア、チリ）／イギリス留学＋ヨーロッパ諸国旅行（ドイツ、スペイン、スウェーデン、デンマーク、スイス、マルタ共和国）／オーストラリア留学＋東南アジア諸国滞在（インドネシア、マレーシア、ブルネイ、タイ）／台湾旅行／ニュージーランド留学／メキシコ留学



■主催者・協力者

【主催】国際関係学科フィールドワーク・フェスタ 2016 実行委員会（国際関係学科の学生たちにより構成）

【助言】亀井伸孝（国際関係学科）

【協力】愛知県立大学多文化共生研究所

■成果と展望

学生たちが楽しみながら、意欲的に準備に取り組みました。旅の報告会は、学年を越えて学生や教員たちが集まる交流の場となりました。旅の写真展は、作品数 92 点、出品者数 44 人を数え、いずれも史上最多となりました。

成果として、異文化への関心を相互に高めあう機会となったこと、学生たちが自ら表現することにより留学や海外フィールドワークなどへのモチベーションを高めたこと、学年の違いをこえた交流の機会となったこと、国際関係学科の特色・魅力を発信できたことなどが挙げられます。

6年にわたるフィールドワークと写真表現、コンテンツ収集の取り組みにより、イオンモール常滑における初の学外での大規模な写真展（6月）、オープンキャンパスの学科紹介での写真展および絵はがき作成（8月）、国際関係学科専門科目「プロジェクト型演習」（2015年度から開講、2年生配当）としての授業化（注1）、河合塾におけるアクティブラーニングの書籍での紹介（注2）など、学内外から評価される教育実践活動へと育ちつつあります。

これから入学する学生たちの参加も促しながら、国際関係学科らしい行事として受け継がれていくことが期待されます。

文責：亀井伸孝（国際関係学科）

執筆協力：佐藤遥／阿南ひかる／飯沼佳菜子／中村茉穂／橋本真美／増田実和／宮木菜月／
宮嶋いづみ／山田冴香／山本紗矢／神田萌々子／不破隆道／里有華／鈴木愛理／堀江菜月
（実行委員、国際関係学科学生）

※行事の詳細は、国際関係学科公式学生ブログでも紹介しています。

<http://kendaikokusai2012.blog.fc2.com/>

（注1）国際関係学科専門科目「プロジェクト型演習」とは、2014年度入学生から適用されている新カリキュラムにおける2年生配当の科目で、2015年度後期に初めて開講された。1学年定員55名の2年生に対し、4～5クラス（四つ～五つのプロジェクト）が設置され、平均10名強のクラスで、「手を動かしながら学び、何らかの成果物を創る」ことを目的としたそれぞれの演習が行われている。今回の写真展では、昨年続く2年目の試みとして、「プロジェクト型演習」のうちのプロジェクトD「写真・映像による調査と表現」（担当教員：亀井伸孝）を履修している18名の学生たちが、授業の一環としてこの写真展のパネル作成と展示作業に合流した。この18名以外



の参加者は、すべて従来通り、課外活動としての参加である。

（注2）河合塾編. 2016. 「愛知県立大学 外国語学部 国際関係学科」『大学のアクティブラーニング：導入からカリキュラムマネジメントへ』東京：東信堂. 311-318.